

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3
学科	全	学年	1 学年	履修区分	必修
使用教科書	All Aboard! English Communication I Revised (東京書籍)				
副教材など	Baton Pass Type R2 (啓隆社)				
	Baton Pass Type G2 (啓隆社)				

1. 科目の目的

国際化社会において、実践的コミュニケーション能力が求められている。英語コミュニケーションⅠでは、中学校の学習内容との接続と高等学校での学習の円滑な移行を考慮しながら、「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の5領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養うことを目指す。また、英文を通して国際的問題について考え、異文化への理解を深めるとともに、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

2. 授業の内容と進め方

- ・コミュニケーション活動に必要な基本的な文型や文法事項などを学習し、情報や書き手の意向を理解できる力を身につける。
- ・まとまりのある文章を音読、暗唱したりして、リズムやイントネーションなど英語の音声的な特徴を理解し音読、暗唱できる
- ・中学校で学習した語に、400語程度の新語を加える。また、一般性が高く、使用頻度の高い熟語や慣用句を学習し、実際に活用できるようになる。
- ・学習した内容に関連する題材に対して、自分の意見をまとまりのある英語で書けるようになる。

3. 学習する上での留意点

- ・日頃より授業ノートを作成し、プリント類の整理をするなど自主学習に努める。
- ・課題等提出物は、指示された通りに完成させ、期限内に提出する。
- ・新出単語の習得に努め、発音や語法など正確な表現の理解に努める。
- ・授業においては、進んで発言し、積極的に学習活動へ参加する。
- ・日頃から、挨拶などの日常的な会話表現を使い、コミュニケーション能力の向上に努める。
- ・単語や文法の習得のため自学ノートややり直し学習を積極的に活用し、学習の定着に努める。

4. 課題等について

- ・授業中や長期休業中、定期考査後など、必要に応じて課題が出されるので、期限内に遅れないように提出する。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

6. 評価の方法

- ・定期考査、実力テスト、小テスト、授業における学習活動への参加の状況や、授業ノート、提出された課題によって総合的に評価する。

《指導計画》 科目名 英語コミュニケーション I

1 学年

3 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	Lesson 1 Breakfast around the World	世界の朝食を紹介スピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 〈言語材料:過去形〉	
	5	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 〈言語材料:進行形 (be動詞+動詞の-ing形)〉	
	6	Lesson 3 Life with Spade	流鏝馬を通して筆者が愛馬と過ごす日々、その絆について読み取る。 〈言語材料:助動詞 can, will〉	
	7	Lesson 4 A Miracle Mirror	海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 〈言語材料:to不定詞(to+動詞の原形)〉	
二 学 期	9	Lesson 5 A Dream Engine	高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。 〈言語材料:動名詞(動詞の-ing形)〉	
	10	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 〈言語材料:受け身(be動詞+過去分詞)〉	
	11	Lesson 7 A Diary of Hope	アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。 〈言語材料:比較表現 (-er) (the -est) (as+原級+as)〉	
	12	Lesson 8 A Door to a New Life	ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 〈言語材料:現在完了形 (have[has]+過去分詞)〉	
三 学 期	1	Lesson 9 Ghosts in the Oceans	海洋汚染やその解決に向けた取り組みについて学び、自分の考えを深める。 〈言語材料:名詞を後ろから説明する分詞〉	
	2	Lesson 10 Pigs from across the Sea	第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。 〈言語材料:関係代名詞 who, which〉	
	3			